

Vol. 22 H30.8.20-23

全国の大学生を対象に

『キャンプ砂防2018 in 立山』を開催！

TATEYAMA SABO



砂防を専攻する大学生を対象に、工事現場体験や中山間地域での生活体験を通して、砂防工事が行われている流域の現状や地域防災への取り組みなどを学び、学習意欲の喚起と職業意識の育成を図ることを目的とした『キャンプ砂防2018 in 立山』が開催されました。

開催日：平成30年8月20日（月）～23日（木）4日間
場所：常願寺川流域（富山県中新川郡立山町及び富山市）
参加者：大学生 5名
 （信州大学、群馬大学、広島大学、岩手大学、京都大学）
主催：立山砂防事務所
協力：富山市、立山町、立山カルデラ砂防博物館

開講式



地域行政視察



富山市（建設部建設政策課）



立山町（舟橋町長）

工事体験及び現場視察

枕木交換体験



協力：富山地铁建設（株）

生コン打設体験



協力：丸新志鷹建設（株）

ドローンによる写真撮影体験



協力：（株）林土木

現地視察



白岩砂防堰堤



多枝原平展望台



水源地調査（室堂）

ICT施工体験



協力：辻建設（株）

ロープ作業体験



協力：新栄建設（株）

生コンプラント視察



協力：水谷生コン事業協同組合

報告会及び閉講式



報告会の様子



修了証書授与

報告会での意見・感想（抜粋）

- 実際にしてみると、立山砂防の規模の大きさや工事の困難さを目の当たりにし、スケールの大きさにとっても驚いた。
- 大学で学んでいる知識について、実際にどのように活かせるかを今後の研究の中で考える良い機会となった。
- 砂防の第一の目的は土砂災害を防ぎ被害を最小限に抑えることにあるが、観光の面でも非常に魅力的であり、多くの人に知ってもらいたいと感じた。
- 将来は多くの人々に砂防に関して知ってもらい、命を守る事業が行われていることを伝える仕事がしたいと感じた。
- 立山砂防が世界遺産になれば、SABOの知識が世界にもっと広がり、立山砂防で培われた知識が世界中の人知ってもらえる良い機会になると感じた。

キャンプ生の皆さま、お疲れさまでした。